

# 競技注意事項

## 1. 規則

競技は2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。  
なお、2022年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則TR16.5の適用はしない。

## 2. 練習

- 練習は、第2陸上競技場とし、安全面に十分注意して行うこと。第2競技場の使用は選手のみとする。
- 第2陸上競技場の開門は7:30とする。
- 会場への投擲物持ち込みは禁止とし、練習は現地集合後に本競技場に入場してから行う。
- フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。
- 器具を使用後は、手洗いをする。

## 3. 競技場とスパイクの使用（TR5.2に準ずる）

- 本競技場は全天候型である。
- 使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するものでなければならない。
- シューズ（スパイク・ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）全体の厚さについては、TR5.13に準ずる。

## 4. 招集

- 競技者本人は競技開始の120分前～60分前までにJAAF健康管理チェックシート兼大会出場承諾書をTICへ提出すること。（押印欄に押印のないものは受け付けない。未提出者は競技に参加することはできない。）
- 一次招集所は、スタンド下雨天走路内スタート側に設置する。二次招集は、トラック競技はスタート地点、フィールド競技はピットで行う。
- 招集に遅れたものは棄権とみなし出場を許さない。競技を棄権する選手は棄権届をTICで受け取り、必要事項を記入の上競技1時間前までにTICへ提出すること。
- 競技者本人は、一次招集所でアスリートビブスの確認を受けること。また、1000mの選手はシューズのチェックを受けなければならない。その他の種目については、各競技場所で確認してもらうこと。
- 一次招集開始及び完了時刻は下記の通りとし、競技者本人が行うこと。

種目	時刻
トラック種目	競技開始30分前開始 競技開始15分前完了
跳躍、投擲種目	競技開始60分前開始 競技開始45分前完了

- トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカード（レーンナンバーカード）を受け取り、右尻部につけること（リレー競技は第4走者のみ）。競技終了後、腰ナンバーカードを外し、ゴール付近のかごに入れること。

## 5. 入退場

- 入退場については第4ゲートとする。一次招集完了後は各自でスタート地点、ピットに移動すること。
- トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に返却し、第1ゲート付近臨時手洗い場で手洗いをし、スタート付近に戻り、荷物を持って待機場所へ戻る。
- フィールド競技は、競技終了後に荷物を持って臨時手洗い場もしくは雨天練習場で手洗いをしてベンチに戻る。

## 6. アスリートビブス

- アスリートビブスは千葉県中学校体育連盟陸上競技専門部及び千葉県高等学校体育連盟陸上競技専門部指定のものを使用する。
- アスリートビブスは胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、跳躍種目は1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

## 7. 走路順

トラック競技の予選の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示し、決勝の組・走路順は本部で抽選し、アナウンス及び速報サイトにて掲載する。

## 8. リレー競技について（リレーのオーダー用紙はTICに準備）

- リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙に必要事項を記入し、一次招集完了時刻の60分前までにTICに提出すること。
- リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- リレーのマーカの使用は1か所とする（TR24.4）。

## 9. 棒高跳について支柱移動申告について

- 支柱移動申告について  
各競技者は、競技開始15分前までに当該審判に自分の希望する支柱の位置を申告すること。もしも競技者がその位置を変更したいときは直ちに当該審判員に申告すること。

### (2) バーの上げ方について

- ① 棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	備考
U16B女子 棒高跳	2m50・2m80	2m50	2m60	2m70	2m80	2m85	以降5cmずつ上げる

- ② 第1位に関わる競技者が同成績の場合は、ジャンプオフ（第1位決定戦）のためのバーの上げ下げの範囲は5cmとする。〔TR26.9.4〕

## 10. 1000mのスタート方法

1000mにおいてグループスタートを採用する場合のスタート方法は、各組のおよそ3分の2までが内側スタート、残りが外側スタートとする。なお、その際スタート10m以内には内側外側を分ける縁石は置かない。

## 11. 番組編成

150m決勝の番組編成は、上位1～4位の4名を中央の3～6レーンに、5、6位が7、8レーン、下位2名を1、2レーンにアトラダムに割り当てて決定する。

## 12. 計時・競技の抽選

- (1) 競走競技はすべてのレースにおいて写真判定を採用する。
- (2) トラック競技においてプラス進出者を決める場合（最下位で同タイム者が出たとき）及び、優勝者を決める場合（1位で同タイム者が出たとき）は次の方法で競技を行う。
  - ① 1000分の1秒以上の比較をし、着差の判定をする。
  - ② ①で判定できない場合、決定戦または競技者及び代理人によって抽選をして決定する。

## 13. 不正スタートについて

不正スタートした競技者はすべて失格とする。2022年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則TR16.5の適用はしない。

## 14. フィールド競技について

- (1) 三段跳は3回の試技とする。記録上位8名がトップ8へ進出し、さらに3回の試技を認める。
- (2) 三段跳の踏切版は男子11m、女子9mの位置に設置する。
- (3) 棒高跳、円盤投、ジャベリックスローで使用する滑り止めは各自で準備をし、滑り止めを他人と共有はしない。

## 15. 用器具

- (1) 棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳のポールは本部の公式計測員（技術総務）の検査を受けてから使用する。

## 16. 抗議

発表された結果に対する抗議は、正式発表後（予選ラウンドにおいて15分以内、決勝ラウンドは30分以内）に各顧問がTICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金10,000円を添えて、担当総務員（ジュリー）に文書で申し出る。

## 17. その他

- (1) 記録の発表は、アナウンス及びWEBの大会速報のみとする。記録の掲示はしない。
- (2) 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難に注意する。
- (3) ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- (4) 選手の控え場所としては、メインスタンド及びメインスタンド裏のコンコースとする。芝生スタンドの控え場所としての利用は禁止とする。
- (5) プログラムの記載事項の訂正については8:30までに、申込責任者がTICへ届け出ること。
- (6) 競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。また、体調が悪くなった選手は医務員の指示に従うこと。
- (7) レースを棄権する競技者は欠場届をTICで受け取り、必要事項を記入の上競技1時間前までにTICへ提出すること。
- (8) 選手は、競技中以外はマスクを着用すること。